

病児保育室 GEOだより

第14号
令和元年
5月号



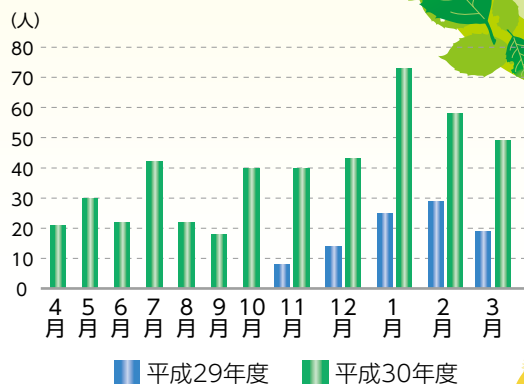
皆様こんにちは、病児保育室GEOです。新年度が始まってから1か月が経ち、お子さまも保護者の皆様も新しい環境に慣れて、少し落ち着かれたのではないかと存じます。さて、新しく元号が変わって初めての5月となり、木々が一斉に芽吹き、山々も緑に萌え、自然豊かな美しい景色を堪能できる時期となりました。東京から糸魚川に移り住んでから2年目となりますが、私の一番好きな季節です。今年こそは昨年できなかった『早川の藤』『月華山かねこつつじ園』を觀賞しようと心ときめかせております。それでは、GEOだより5月号の始まりです。

糸魚川こどもクリニック 病児保育室GEO 事務長 渡辺 や江子

利用者数の推移

平成29年度は11月から3月末日までの5か月間に95名(毎月約20名)でしたが、平成30年度は458名(毎月40名弱)と2倍近い方々がご利用くださいました。特に2019年1月は全国的に流行したインフルエンザA型の影響で73名の方がご利用くださいました。この時期は行政と連携して手を尽くしたものの保育士が不足する日が続き非常に悩まされました(糸魚川市の保育士不足は大変な問題です)。

●病児保育室利用者数

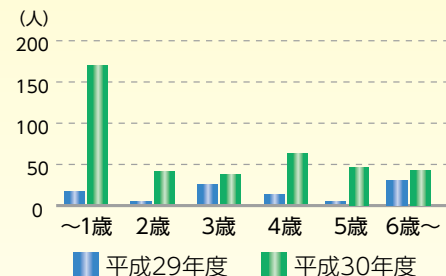


平成30年度 病児保育室のご利用状況について

利用者の年齢

平成29年度と30年度とを比べると明らかに**2歳以下の利用者数が増え、全体の半数以上**を占めるようになりました。昨年度と比して全国の利用状況に近付いて来ましたが、これも**GEOが皆様に認知され、ご利用いただけるようになった**からかも知れません。

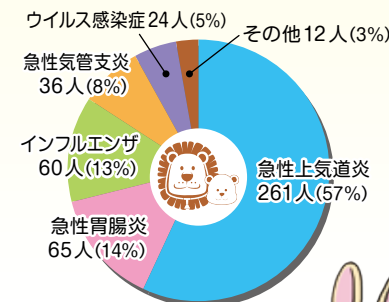
●年齢別利用者数



利用者の疾患

平成29年度は11月からの開園であったためか利用者の約40%がインフルエンザでしたが、平成30年度はとて**とてもポピュラーな疾患である上気道炎(いわゆる“かぜ”)が1番多くなりました。病児保育室の敷居が低くなり、使いやすくなった**のかも知れません。

●疾患の割合



病児保育室からのお知らせ

GEOでは幼稚園や保育園で**急病を発症してしまったお子さまをタクシーでお迎えして一時的にお預かりするサービスの準備**をしております(一部機関の承認待ち)。これからもGEOは皆さんが育児と就労を両立するお手伝いをすべく、**より便利で使いやすくなるための進化**を続けますので、よろしくお願ひ申し上げます。

